

磐城時報

編輯兼發行所 石城郡平町新屋町十四
印刷所 石城郡平町新屋町十四
電話 石城郡平町新屋町十四
代印所 石城郡平町新屋町十四
電話 石城郡平町新屋町十四
電話 石城郡平町新屋町十四
電話 石城郡平町新屋町十四
電話 石城郡平町新屋町十四

縣下小學校教員に

齒科衛生の講習

縣齒科醫師會主催で
八月四倉校に開催

福島縣齒科醫師會主催縣下小學校十一萬六千圓に對して借入は三校衛生暑期講習會は八月十六日九千圓だけである。

十七日の二日間毎日午前八時から午後三時迄石城郡四倉小學校に開催する事になったが、受講者は縣下各小學校教員一校一名宛で五百余名の多數に上つてゐる、講師左の如し

▲大西文部省學校衛生官 ▲東大齒科醫學專門學校教授與村鶴吉博士 ▲縣技師小野寺健太 ▲ライオン口腔衛生部長向井喜男

郵便物紛失

配達夫取調

平局の平窪村地方配達夫高羽政一(夫二九)假名が二十五日同村を配達中約三十通ほどの郵便物(木炭評議員會 濱三郡木炭同業組合では八月三日午前十時から平町事務所評議員會を開き決算、豫算を協議するの郵便物遺棄を企てたのではな否である。

成績良好な

石城の産業組合

石城郡下における七月一日現在の産業組合数を見ると全部で二十七組合の出資總額は八十三萬八千五百五十五圓に達してゐるが、これを昨年同様に比すると二組合だけ減じてゐる、しかし内容においては充實し、現在拂ひ込額は五十八萬圓、諸積立金は十九萬三千五百圓を擁してゐる、借入金は僅かに二十七萬餘圓に對し組合貯金は五十七萬一千七百餘圓に及んでゐる、組合中するの手のつけやうなく、一これ等の處分が重大問題なので最も成績のよいのは江名信用組、兩日中には石坑中坑にも浸水す平署ではこの方面を警戒してゐる。

藤原炭礦廢山か 一日三十間宛増水 坑内機械を取外し中

石城郡磐崎村大字藤原三井炭礦したと傳へられてゐる、それが八日一坑道から二十六日午前八時ため三井炭礦本社から藤原重役だけ減じてゐる、しかし内容においては充實し、現在拂ひ込額は五十八萬圓、諸積立金は十九萬三千五百圓を擁してゐる、借入金は僅かに二十七萬餘圓に對し組合貯金は五十七萬一千七百餘圓に及んでゐる、組合中するの手のつけやうなく、一これ等の處分が重大問題なので最も成績のよいのは江名信用組、兩日中には石坑中坑にも浸水す平署ではこの方面を警戒してゐる。

鯉船暗礁に乗り上ぐ

ドサクサ紛れ中に百圓を盗み そのまゝ上陸して逃走

石城郡四倉町字仲町石井鐵三郎所有鯉船が鯉二千尾を漁獲して四倉濱に歸港中二十七日前五時頃双葉郡富岡町沖合で濃霧のため暗礁に乗り上げたので船長佐藤平次郎以下總出動で復舊に努め午前九時復舊したが、そのドサクサ紛れ中船長佐藤平次郎の現金百圓が紛失してゐるのを発見し大騒ぎをしたが、乗組員双葉郡詩戸濱生れ磯崎幸吉磯崎幸太郎(二)が窃取しそのまゝ上陸して逃走した事が判つたので四倉濱に着くと直ちに四倉署に届け出た、四倉署が磯崎の行衛捜索中二十七日午後六時半頃歸宅して逃走せんとした窺か遠藤源三郎(四)外朝鮮人十余名が加はり花合せ十丹賭博開帳中、内郷村駐在巡査が踏込んだ石城郡四倉町字仲町村屋自動車

肥料組合
代議員選舉
縣下肥料商同業組合石城聯合會では二十七日平町に於て縣代議員を選舉した結果、吉田定太郎(平)小宅嘉久治(植田)小野總次郎(小名濱)の三氏當選した。

朝鮮人十余名が 賭博場から逃走

石城郡内郷村大字高坂字館野伊が、伊藤、遠藤の兩名を逮捕し藤善右衛門(三六)方で二十六日たのみで朝鮮人十数名は逃走。

相馬支局通信

製糸所主催製糸講習會は廿七日午後二時より相馬郡原町片倉製糸購買入所内に於て開催したが、時節柄として聴講者非常に多く場外にゐるもの多數あつた因みに講師は小雲技師。

自動車 幼児を轢く

朝七時になるとう村の小學校児童が登校する、ドヤドヤと下の小道を上つて來るではないか、僕等は大意で身仕度をする、飯盆がガチャガチャ鳴る、鍋の蓋が落ちる、靴下もやらずにケイトルを巻くなど笑はれさうな醜態を演じた、前には峠が意地悪く座つてゐる、然も頭は霧で見えない、だが僕等にも箱根を越したと云ふ大きな強さがある、僕等は昨夜來の服をこすり、サフ行かうと田卷君が落ちるか、(此項續く)

平から神戸まで

昨夜は少し降つた、そして今朝も空は灰色に霞んでゐる、良の渡りに差し掛かると、もうそれは綺麗に晴れてしまつてゐる、兩川の渡船は縣營で、而も蒸氣だ、茨城の利根の渡り、天龍川の橋渡などを考へると僕等は此處ではうれしなる、たゞだ。

田卷、長瀬、綿引三君の自転車旅行

外観ではあるが、商業的にも工業的にも活動性がなく大平町よりはさつと落ちる、津市もさうだ、むしろ一段落ちた松坂町の方が何れ丈けい、かしたくない、少し小さい靴下もやらずにケイトルを巻くなど笑はれさうな醜態を演じた、前には峠が意地悪く座つてゐる、然も頭は霧で見えない、だが僕等にも箱根を越したと云ふ大きな強さがある、僕等は昨夜來の服をこすり、サフ行かうと田卷君が落ちるか、(此項續く)

肥料組合 代議員選舉

縣下肥料商同業組合石城聯合會では二十七日平町に於て縣代議員を選舉した結果、吉田定太郎(平)小宅嘉久治(植田)小野總次郎(小名濱)の三氏當選した。

四倉濱賑ふ

石城郡四倉町字仲町緒方萬次郎氏宅へ二十七日午後五時頃傳書四倉海水浴場に於ける二十六日鳩が飛び込んだので捕へて見る土用丑の日の入出は四倉警察署と金環に東京日々新聞社第四號で調査した處によると一萬三千千八百號と記してあるの同社入で二十七日日曜日には四千八百、非常な雑踏を呈した。

胡摩澤にチブス

平町役場収入役、平町胡摩澤大河原金之助氏の妻キヨ(五八)は腸チブスと決定隔離された。

相馬支局通信

製糸所主催製糸講習會は廿七日午後二時より相馬郡原町片倉製糸購買入所内に於て開催したが、時節柄として聴講者非常に多く場外にゐるもの多數あつた因みに講師は小雲技師。

消防組頭會

六日郡内消防組頭會を中村署樓上に開き、各種事項を協議し正午より原釜海水浴場東洋館にて懇親宴會を催した。

懸賞盆唄當選
 (その一) 一等 盆唄四等迄
 一等 背に花笠伊達にはつけぬ
 離れまいこの合印
 平 白石 實
 二等 ヤグラ太鼓のやえたる音
 に 月の鬼も出て踊る
 平 大原 登良夫
 来るなくの勿來を起へ
 て 盆にや来て見よ平まで
 平 鈴木 花柳
 踊り狂ふて夜明けを忘れ
 田村郡移村 松浦 敏子
 盆にや来て見よ磐城の平
 街は火の海人の波
 平 萩生田 みよ
 色の取りもちや赤井嶽樂
 師 行くにや御道が七曲り
 平 多毛 尾
 平名所は稲穂の上
 九十九間の尼子橋
 同 同
 磐城豊間の岩打つ波は
 明日も大漁知らず音
 平 佐藤 佳男
 主と踊ると尼子の橋に
 待てば出て来るお月様
 平 中島 常廣
 平 稲にや穂が出る日和はつ
 平 磐城平は盆踊り
 平 山崎 秋江
 揃ろたくよ足なみ手な
 み 月も踊るよ影踊る
 平 中村 屋
 磐城平で見せたいものは
 櫻つじと盆踊り
 平 綿引 富郎
 しなのよい娘を嫁御には
 ぶり 氣立てやさしい踊り
 伊達郡大久保村 神谷不迷
 はなれに踊つたけれ
 ぞ 對の浴衣で浮立つけれ
 平 高橋 みよ
 西の赤井岳まだ日が暮れ
 ぬ 町の踊りにやまだ早
 ぬ 町仲問町 火防組員
 一人留守居に寝が寝て見
 たが ヤグラ太鼓が氣にか
 らる 平 多毛 尾
 月はやえたがわしや胸は
 ぬ 盆にや踊りへ顔見せ
 平 島 盛會裡に閉會した。

盆が来た、あの山こへ
 て 可愛あの子も里がへり
 平 長谷川 つる
 盆の三日は坊主の落度
 せめて七日もあればよい
 平 高橋 清
 蓋屋岬に燈臺あれど
 戀の關路は照しやせぬ
 平 本松 司郎
 (佳作は明日掲載)
 ▲注意
 一、當選歌中に竊御通知の方
 には謝辞を呈す
 但し發表後三日以内の事
 一、當選者にして住所氏名不明
 の方は至急申出られたし
 審査員 高久晚霞、外八名

原町通信
 ▲原町秋季競馬 相馬
 郡原町競馬會にては二十四日相
 馬畜産組合役員會と、競馬理事
 會を元那衝に開き協議の結果十
 月四日から六日迄三日間開催す
 ることに決定した。

縣外からの
 出場許可陳情
 原町競馬會で地方競馬としての
 馬場の理想的なると毎回異常の
 好成绩をおさめてゐるが、今回
 縣外よりの申込希望者多数ある
 ので去る十八日同會長庄司憲造
 氏出縣これが許可方を陳情した

剣舞講習會 相馬郡
 原町にては來月初めより二十日
 間に亘り少年組、青年組の二組
 を編成し剣舞講習會を開催する
 事になりたるが、希望者非常に
 多く一般有志も士氣を鼓舞する
 と同時に體育奨励の爲めとあつ
 て大に賛成してゐる。

文化講演會 東洋大
 學主催の文化講演會は廿七日午
 後七時より中村第二校に開催大
 盛會裡に閉會した。

水泳講習會 縣立相
 馬中學校水泳部では廿五日から
 一週間の豫定にて原釜海水浴場
 にて水泳講習中である。

相馬高女弓道 縣立
 相馬女學校弓道部にては小泉師
 範指導の許に廿四日から七日間
 士用稽古中。

唱歌お話會 二十九
 日午前十時から相馬郡中村第二
 小學校講堂に開催。

水の値下げ 原町水
 商組合にては一杯五錢を今回四
 錢に値下げした。

豆腐値下げ 原町豆
 腐は一丁十錢を八錢に値下げ、
 八月一日から實施。

磐城刀劍保存會 生る
 我國三千年來大和魂の真髓武士道の精華である刀劍は其
 影を消さんとする傾嚮あり邦家の爲め慨歎に堪えざるた
 め石城の愛刀家加藤丈夫、酒井國三郎、長谷川豊吉其他
 の同好者相謀り茲に磐城刀劍保存會といふ研究と保存を目
 的とした團體を組織する事になつた奮つて御入會下さい
 平町字二丁目

入會申込所 長谷川椅子店方
 八月二日 於住吉屋本店
 磐城刀劍保存會組織準備會當日役員決定
 刀劍持寄りの事

磐城刀劍大會 を開催
 八月 平町住吉屋本店に於て
 當日は東都刀劍の大家
 本阿彌光遜氏來平講演
 發起人一同

手藝夏期講習會
 一、講習科目
 佛蘭西刺繡科、ドロンウワーク科、カントウワーク科、
 リボンアート科、フライヤー刺繡科、千草系編物科、フ
 レンチアラート科、リボン細工科、リボン刺繡科、毛糸編
 物ノ研究科、マクラメレース科、折紙及水引ノカケ方
 染色科
 以上の外希望に依り「區限刺繡」(クレイプ細工及クレイプ)
 の摘み細工レース編物、子供婦人製帽毛糸刺しゅう「ビー
 ス刺繡」等も講習することを得
 二、講習料 金壹圓五十錢也 希望の科全部を兼修せ
 らるゝも講習料は別に頂きませぬ
 三、會場 平陽女學校、石城郡平町
 四、會期 八月一日より八月五日迄五日間(毎日午前八
 時より午後三時迄)
 五、申込期限 可成七月二十五日迄御申込下さい(但し
 講習開始當日迄にても差支ありません)
 六、證書 講習終了者には講習證書を授與いたします
 講習開始の當日は各科の製品見本を陳列いたしますから
 篤と御覽を願ひ然る上に於て選定せらるゝも差支ありま
 せん
 主催 平陽女學校
 電話四四五番(振替仙臺五六八二番)

内科 小兒科 (入院應需)
 花柳病科
藤沼醫院
 平町紺屋町
 電話平陽五〇七番

耳鼻咽喉科專
氣管食道科門
 病室完備...自炊の便あり
 平町南町 大和田醫院
 電話一七〇番

最新式高級
セダン型二台購入
 自動車通のお客様は
 斷然この車をお撰び致します
 高級車でも破格の料金です
 セヒ一度御試乗を!!
マツザキタクシー
 電話番號は...獅子吼
 シシク
 四四九

水水はイツモ氣持の
 暑...暑
 水...水
 同いちこ 水 あぶぎ 同白玉 同玉子水 十五 十五 十五
 同いもん 八 八 同白玉 同玉子水 十五 十五 十五
 同ぶどう 八 八 同白玉 同玉子水 十五 十五 十五
 あつきアイスクリーム 金十五 金十五 金十五
 アイスクリューム 金十五 金十五 金十五
 ミルクセイキ 金二十五 金二十五 金二十五
 水セイキ 金二十五 金二十五 金二十五

御注文は電話一四二番へ出前迅速
 平町一丁目 **藤寅**

吉田眼科病院
 平町紺屋町
 電話六八番